



2026 年 10 月 9 日

各 位

上場会社名 株式会社ジュンテンドー
代 表 者 代表取締役社長 飯塚 正
(コード番号 9835 東証スタンダード)
問合せ先責任者 常務取締役 管理本部長
尾原 司
(TEL 0856-24-2400)

2027 年 2 月期第 2 四半期（中間期）業績予想と実績の差異に関するお知らせ

2026 年 4 月 10 日に公表した 2027 年 2 月期第 2 四半期（中間期）の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2027 年 2 月期第 2 四半期(中間期) 個別業績予想と実績の差異 (2026 年 3 月 1 日～2026 年 8 月 31 日)

	営業収益	営業利益	経常利益	中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (2026 年 4 月 10 日発表)	百万円 23,300	百万円 820	百万円 770	百万円 480	円 銭 59.19
実績値 (B)	22,523	958	918	632	77.96
増減額 (B-A)	△776	138	148	152	—
増減率 (%)	△3.3	16.9	19.3	31.7	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (2026 年 2 月期第 2 四半期)	23,488	871	850	572	70.61

2. 業績予想と実績値との差異の理由

当第 2 四半期(中間期)におきましては、物価高による消費者の購買意欲の低下や他社との価格競合等による来店客数の減少が前期より継続し、営業収益は当初予想を下回る結果となりました。

一方、利益面におきましては、継続的な値入改善の取り組みにより売上総利益の減少を最小限に抑えたことに加え、水道光熱費や消耗品費等の全社的なコスト削減に努めて販売費及び一般管理費が当初見込みを下回った結果、営業利益、経常利益、中間純利益とも当初予想を上回りました。

3. 通期業績予想について

通期の業績予想につきましては、物価高の長期化が見込まれる中、当社では客数および売上高の回復を最優先課題と捉え、9 月以降に一部商品の値下げ施策を実施しております。しかしながら本施策による売上高・客数の回復効果や年末商戦等の業績への影響を慎重に見極める必要があることから、現段階では従来の予想値を据え置くことといたします。

なお、今後の業績推移や市場動向を慎重に注視し、業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

以 上